

《こども学科》

こども学科では、保育・教育等に関わる優れた実践力を身に付け、こども学科の卒業生としてふさわしい専門性と人間性豊かな人材の育成を目指し、達成度を評価して学位を授与する。

人間性豊かで実践力がある保育者・教育者をめざし、幅広い教養と専門性が身に付くようにカリキュラムを編成して、幼稚園・小学校教諭二種免許状の取得に向け、基礎と応用、理論・演習・実技のバランスがとれた学修形態を工夫するとともに、こどもにかかわる活動を計画している。

本学科には保育コース・教育コースの2つのコースがあり、コース共通に幼稚園教諭2種免許状の取得ができる教育課程を編成し、教育コースでは小学校教諭2種免許状が取得できる授業科目を開設している。

教員養成に係る教育の質の向上をめざした教育課程の特色は以下のとおりである。

- コース専門科目での学びを通して、保育コースでは「幼児体育指導者検定2級」、「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格1・2級」いずれかの取得を位置付けており、教育コースでは「こども環境管理士2級」の取得を推奨している。
- コース共通として、幼稚園教育の実際を理解するために、教育実習とは別に、幼稚園等での観察実習やボランティア体験を行っている。
- 教育コースでは、小学校教育の実際を理解するために小学校での公開授業や研究会に参加し、教科教育や指導法の学びに活かしている。
- 教育者としての感性を磨くために、1年次に美術鑑賞会、2年次に音楽鑑賞会を実施している。
- 学びを実践に結びつける取り組みとして、1年次に学科行事「こどもの国」を実施し、学生の応用研究のもとで各種企画を行い準備・運営をとおして、発表や交流体験の機会としている。